

成城大学大学院文学研究科主催

# 学術講演会 のご案内

大学院文学研究科主催の学術講演会を、下記の通り開催いたします。  
万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

**講師： 早川 和宏 氏**

(東洋大学副学長・学生部長・法学部法律学科教授・弁護士、  
成城大学法学部卒業・成城大学大学院法学研究科博士課程後期単位取得退学)

**演題： 「研究と資料・史料  
—「使う」「残す」を法的に考える—」**

**日時： 2022年7月21日(木) 16:30～**

**場所： 3号館3階 大会議室** (※参加費無料、予約不要)

対面参加のほか、Zoomによるオンライン視聴も可能です。  
オンライン参加をご希望の場合は、成城大学HPの文学研究科ページより  
当日アクセスをお願いいたします。

研究者は、様々な資料・史料を渉猟し、分析し、思考し、研究成果として取りまとめて公表する。その意味では、資料・史料の上に構築され続けていくのが研究であるとも言える。

資料・史料には、作成者・所有者がいる。そこには、個人の私生活が記されていることもある。作成者・所有者・個人は、当該資料・史料について何らかの権利を有している。そのため、研究のためとはいえ、資料・史料を無制約に使うことはできない。本講演では、資料・史料の法的性格から説き起こし、それらを研究に用いる上での留意点についてお話ししたい。

問合せ：成城大学大学院文学研究科